

■日時

平成30年6月18日（月）午後3:00～午後5:00

■会場

亀岡市役所 3階 303会議室

■議事

- 1 開会
- 2 別院中学校ブロックの取組について
- 3 東輝・詳徳中学校ブロックの取組について
- 4 亀岡中学校ブロックの取組について
- 5 その他
- 6 閉会

■意見交換発言内容

会長 (教育部長)	<p>ただ今、事務局から別院中学校ブロックの取組について説明いただいた。学校規模適正化の取組について、亀岡市では学校規模適正化基本方針を策定している。それに基づいて、中学校ブロックごとに適正化方法の選択肢の中から素案を作り、市議会議員や学校、PTA、自治会の各関係者で構成するブロック協議会で協議いただき、PTA役員、自治会役員、保護者、住民と順に説明させていただいてきた。別院中学校ブロックでは、平成28年から地域に入って説明会をさせていただいてきたが、教育委員会の示す案では賛同が難しいという御意見をいただいたので、平成29年度に実施年度の考え方等を一部見直し、改めて説明に入らせていただいた。しかし、西別院町では、定住促進や空き家対策など自治会をあげて取組を行っている中で、まちづくりの中核となる中学校が存続できないという市の計画には賛同しにくいとの意見をいただいた。そうした中で、自治会で小中一貫校を開校された他の地域へ視察に行くなど研究をされてきたことから、小中一貫校でという意向も示された。最近の状況としては、自治会と引き続き協議をさせていただいており、6月の市議会でも、取組についての質問もあった。自治会の意向も承知している状況ではあるが、今後の児童・生徒数の状況を見る中で、どういう方向が良いのか、もう一度教育委員会と自治会で協議をしてより良い方向に進めていければと考えている。平成29年1月の住民説明会では、「中学校がなくなる計画には賛同できない」「もっと準備期間が必要である。」「子どもの負担軽減に配慮が必要である。」「もう少し丁寧な説明をしてほしい」「小規模校のメリットを生かした取組をしたらどうか」という意見をいただいた。</p> <p>この別院中学校ブロックの取組について、御意見を承りたい。</p>
--------------	---

委員	<p>地元の西別院町と東別院町の思いをひとつにして、同じ方向に進められるのであれば、それが一番良い。100%納得いくことは難しいかもしれないが、これなら仕方がないというところまで、教育委員会と地域の中で話ができることが望ましい。</p>
会長	<p>教育委員会の思いとしては、できる限り良い状態に短い期間でもっていければということの計画である。今のところは編入を基本的な考え方としているが、今後話し合いの中で進めていきたい。</p>
委員	<p>西別院小学校と東別院小学校の児童数をみると、少ないと感じる。工夫して授業をされていると思うが、集団活動がなかなか難しい。切磋琢磨すること、協力関係を作ることが難しくなるのではないか。それだけ地域や保護者の協力体制のもとやっていくことが大事になる。</p>
委員	<p>自治会としての基本的な考え方は、まちづくりは人づくりである。ずっと地域の子どもが地域に残ることは難しい状況である。世界に羽ばたく子や日本の他の地域で頑張る子もいれば、地域に残ろうという子もいる。自分たちの教育実践の中で、子どもたちが親や地域と一緒に考えてくれればいい。その環境が自治会に必要である。市内中心部とは環境が違う。地理的な条件で、便利さは当然違う。そこは子ども自身が考える。別院は、自然環境がすばらしいところを活かして特認校をしている。保護者も子どももそういうところで学びたいと選んで通っている子もいる。だから子どもたちが真剣に考える。子どもに視点を合わせたときに、どの地域でも充実した教育内容が受けられるということが必要である。それが継続できるのであれば、南桑中学校への編入、あるいは小中一貫校は、教育委員会が責任をもって考えることである。地域としては、教育委員会がそういう判断するまでにどういった取組を進めるのか。親の視点と子どもの視点は違う。親の視点では、子どもは言うことを聞かし、少人数でしっかり見てもらえるので問題ないと思うが、社会の大海に出たときにどうかと子どもを視点に考えたらい。それは、どこか視察に行くなり考える機会をPTAで組めばいい。子どもたちがこの地域で良い教育を受けていると思える教育実践をやってもらって、一方で教育委員会がそういうことを視野に入れながら、この地域にとって何がいいのかを考えたらい。</p>
会長	<p>事務局から特認校のPR方法や実績を説明いただきたい。</p>
事務局	<p>平成29年度から東別院小学校と西別院小学校で特認校を指定した。入学実績は、平成29年度は東別院小に3人と西別院小に1人が入学し、平成30年度は東別院小に1人入学した。ただ平成29年度に東別院小へ入学した2人は、6年生で卒業したため、今年度は東別院小に2人、西別院小に1人が通っている。PR方法は、各学校でパンフレットを作成いただき、夏休み前に1年生から</p>

	<p>5年生まで全児童に配布している。市内の公立・私立の幼稚園、保育園の年中と年長に配布している。また記者会見を行って、京都新聞に掲載していただき、キラリかめおかお知らせに掲載した。さらに、アルプラザやイオン等の大型店舗にパンフレットを配架したり、自治会からの組回覧、郵便局、ギャラリー、文化センター、市役所等の公共施設に置くなど、できる限りのPRを行った。まず一回は学校へ見学していただいて、学校の雰囲気や良さを知っていただくこととしている。学校も保護者の日程が合えばいつでも来ていただけるような対応をしている。</p>
<p>委員</p>	<p>基本方針に課題と方向性が示されている。東・西別院町は存続を望まれていると思うが、小規模校のメリットとデメリットがあるので、子どもたちの視点でこのままでいいのか、将来的に競争社会に出たときのことを考えて南桑中学校に編入するのか、両方あるので難しい。しっかりと話し合いをして欲しい。6年先までの児童数の見込みがわかるので、それも踏まえて考えると良い。</p>
<p>会長</p>	<p>別院中学校ブロックについては、市の計画案と地域の思いをお互いに突き合わす中で、継続して話し合いをしてご理解いただけるようにしていきたい。地域の住民にも十分な情報を提供する中で、どうしていくかを協議して進めていきたい。次に、東輝・詳徳中学校ブロックの取組について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
<p>会長</p>	<p><b>【事務局説明】</b></p> <p>東輝・詳徳中学校ブロックにおいても、計画案をお示しさせていただいて、地域の関係者や学校の関係者、保護者、市議会議員で構成するブロック協議会で、協議いただいた。その内容でPTAや自治会、各区長、そのあとに保護者・住民への説明会を重ねてきた。計画案は、安詳小学校とつつじヶ丘小学校の過密化の緩和と、児童数が減ってきている詳徳小学校と南つつじヶ丘小学校の複数学級を維持すること、併せて詳徳中学校と東輝中学校で小中一貫教育の体制を整えるために校区見直しを行うもので、亀岡地区東部のつつじヶ丘小学校から東輝中学校へ進学する地域を含めて、理解をしていただけないかと話をしてきた。最終案による2回の説明会後に開催した5月末のブロック協議会では、篠町とつつじヶ丘の該当地域については、説明会を重ねてきたので結論を出さないと不安が募るばかりである。一定の方向性を示して取り組んでいく方が望ましいのではないかという意見をいただいた。ただ、これまでの説明会では賛同できないという意見も多く、全体的に賛同いただけた状況には至っていない。その部分については、平成32年4月までの準備期間で、特に通学路の安全対策についてはできる部分から早く取り組んで、その状況を見ていただくことで理解が深まるのではないかという意見もいただいた。今後の不安軽減に対する取組や実施方法についても、示させていただいている案の形に整理する中で、これで</p>

	<p>お願いしたいと今日まで来た。これまでの取組や今後の進め方等について御意見を承りたい。</p>
委員	<p>学校の立場から考えると、学校間の交流活動を行う場合、学校の負担が出てくる。働き方改革で仕事を減らそうという中で、学校だけで一生懸命になれば負担になる。教育委員会の中で交通整理していただける人が必要になるのではないかと。教育委員会としてどれだけ支援ができるのか聞かせていただけないか。</p>
会長	<p>これまでから常に学校と情報交換する中で、教育委員会と学校が一体となって進めてきており、具体的な案を考えていただいている。取組について予算化が必要などときには、予算を確保する中で学校間交流などを行うこととなるが、決定していない段階で具体的にお知らせすることは難しい。今後、意思決定されれば具体的な話をさせていただいて、一体となって前に進めていければいいかと考えている。</p>
事務局	<p>対象地域の学校長に丁寧に説明させていただいて、出てくる課題や今後の見通しについても協議させていただいている。今後もそれは丁寧に続けていき、学校間交流にかかる費用も予算化し手当していく。それぞれの学校をつないでいけるように学校教育課でも考えていく。</p>
委員	<p>この間に、3～4年かけて手順を踏んで学校規模適正化の方向性を出していただいているので良い。ある程度の規模にしていくことが大事である。方針の中で今後の取組を示されており、それぞれの学校と連携をさせていただいているが、今後取組を進めていくのに際して、いろいろな課題が出てくると思う。それに対応できる先生の配置をお願いしたい。</p>
委員	<p>別院中学校ブロックと同じで、教育委員会は足を運んで説明会をやってきている。2小学校1中学校で小中一貫教育を進めることは教育行政としては良いことだと思う。安詳小学校の事故以来、心配することは通学路の安全面だと思うが、保護者が一番心配していることは何か。</p>
事務局	<p>通学路の安全対策が大きな関心であることは間違いない。それ以外では学校を移らないといけないことである。中学校は1年生からの学年進行であることから、心配は少ないと考えているが、小学校では1年生から4年生までが学校が変わるということになると、変わることに子どもが不安を持って、いじめ等につながることを心配されている。</p>
委員	<p>保護者は、学校が変わったときに教育の中身を心配されると思う。魅力的なことをしていることを保護者に理解していただいて、子どもに聞かれても答えられるような教育実践をしてあげることである。変わることで子どもを犠牲にし</p>

	てはいけない。それは教育委員会が考えることである。子どもの本当の不安感は何かを現場の学校では把握されていると思う。自治会は自治会としてまとまってやっていくが、最終的に中心は子どもや保護者になっていくので、その把握をしっかりしていただきたい。
委員	対話が全ての解決策につながるので、しっかり説明会をされているので、少しでもデメリットが解消できるようにしていただきたい。ただ、不安感はあると思うので、メリットをしっかり出していくといい。地域によっては、通学路が安全になるという声もある。PTAの役員についても予定に沿ってやっていくようにしたい。
会長	東輝・詳徳中学校ブロック協議会で、具体的な取組を進めているところについては、結論を出してすすめていくべきという意見をいただいて周知をしたので、それに基づいて進めていきたいと思う。
事務局	今後の取組については、本日の地域別推進協議会で一定の方向性の確認をいただいた後に、教育委員会で最終的に東輝・詳徳中学校ブロックの校区の見直しを決定いただくことになる。開催日は確定していないが、教育委員会で校区の決定いただいた後に、該当の地域だけでなく市民にも校区が変更になることをお知らせしてご理解いただけるように広報周知にも力を入れていきたい。それらを経て32年の4月から新たな校区で通学していただけるように、1年半に準備、体制を整えて取組を進めていきたい。
会長	最終的には今後開催する教育委員会で判断いただくこととしている。次に、亀岡中学校ブロックの取組について、事務局から説明をお願いしたい。
	<b>【事務局説明】</b>
会長	亀岡中学校ブロックの立ち上げについては、土地区画整理事業に伴う校区の決定と保津小学校の特認校の対応と併せて、東輝・詳徳中学校ブロックの計画案で調整中としている亀岡地区東部自治会に関する小中学校の方向性の3点について、亀岡中学校ブロックを立ち上げて協議を進めていきたい。御意見を承りたい。
委員	亀岡市で小中一貫を進めるのであれば、亀岡中学校へ通っている子どもが東輝中学校へ変わるほうが望ましいのかなと思う。できるだけ理解が得られるように、時間がかかってもそうなる方が良いのではないかなと思う。あまり強引にならないように調整できればよいのではないかな。
会長	小学校を亀岡小学校へ戻すのか、中学校を東輝中学校へ移るのかどちらも負担

	にはなるが、どちらのほうがいいのか声を聞かせていただいて、進めていかなければならないと考えている。
委員	2小1中でやるのであれば、貫いてほしい。丁寧に進めていっていただきたい。
委員	まずは年長者の話をしっかり聞いて協議していただきたい。亀岡駅北のゾーンについては、対象となる校区の学校には頑張してほしい。
会長	一定の見込み人数も立てながら、施設のほうも対応していきたい。
委員	つつじヶ丘小学校の一部についても分かれてしまうので、できれば東輝中学校に行くほうがよいのかと思う。
会長	本日の協議事項は以上で終了しました。全体を通して何かありますか。他に何もなければこれで会議を閉じさせていただく。  (会議終了)